

あけの

伊勢市立明野小学校
伊勢市小俣町明野1939
校長 伊豆 敏
電話 24-5171
FAX 24-5172

学校教育目標 「心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもを育てる」

～ 困いさつ 図うじ 円んきょう 3つの「あそべ」をがんばろう ～

◇卒業に向けて◇

小学校の6年間は子どもたちにとって、心も体も大きく成長する時期です。教室での授業や活動だけでなく、遠足や運動会、文化祭、児童会活動、集会等、様々な行事を通して、互いに新しい考え方を学んだり、協力して色々な課題を解決していったり、けんかをしたり仲直りをしたりして人間関係の作り方等を学んでいきます。そういった意味から小学校においては集団生活の中でたくさんの体験を積むことはとても大切です。

子どもたちの様子を見てみると、授業中に一生懸命に手を挙げて発表したり、どんな取り組みでも率先して動いたり、自分の事より友だちの世話をしてくれる子どもや、一方で、やりたくない事には消極的であったり、色々なことを言いながらすぐに諦めたり、長続きしない子どもも少なからず見受けられたように思います。子どもたちには自分の成長のためにも、うまくいかなかったりしても、いつも目標をもってチャレンジする気持ちを持ってほしいと願っています。

さて、平成30年度ものこり少なくなってきました。この時期になると教職員にとっては、あっという間の一年間であったと感じながらも、年度末に向けて忙しい毎日を送ります。今後予定されている「卒業式」に向けて、子どもたちの思い出に残るようにしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

◇土曜授業「6年生を送る会」◇ 2月16日(土)

2月16日(土)に行われた「6年生を送る会」は5年生の子どもたちが中心となって準備を進めてくれました。6年生を送る会の最初で1年生の学年発表がありました。1年生の学年発表は「ぼくたち、わたしたちの1ねんかん」というタイトルで1年生の子どもたちが1年間を振り返って、3曲の歌や群読を挿入して組曲調に仕上げた発表です。歌は「はじめの一步」「おひさまにまけないくらい」「ありがとうの花」と、群読は教科書に出ている「あるけあるけ」です。1年生は普段からとても元気が良いので出だしの声もとても素晴らしく1年生らしい発表でした。最後に1年生の代表者が6年生の代表者に手作りのプレゼントを渡していました。次に全学年で〇〇に入る言葉に合わせて返事やジェスチャーをする「〇〇さんゲーム」です。6年生にとったアンケート結果をもとにクイズにした6年生クイズや6年生の6年間のスライドショーで振り返る「思い出のアルバム」を企画してくれました。最後にお礼の言葉に次いで6年生の学年発表でした。内容は「ひまわりの約束」のリコーダーによる演奏と「絆」の合唱です。6年間の成長を感じることでできる6年生を送る会でした。最後は花道をつくって6年生を送りました。あと実質19日間…小学校生活を楽しんでください。



1年発表



6年発表

◇子どもとのかかわり方◇

子どもは成長するにつれて、社会が少しずつ広がり、人とのかかわりも多くなってきます。当然、人とのかかわりが増えれば人間関係の悩みも多くなってきます。大人も同じですが、悩みがあってもそれがすぐに解決できないことがたくさんあります。そんな時、私たちは家族や親しい人に人間関係の悩みを話すことで、少し気が楽になったり、自分を冷静に振り返ったりすることができます。しかし話を聞く側からすると、その悩みを早く解決してあげたいと思う気持ちが強くなり、相手が話していることを、「こうこう、こういうことだね。」とまとめ、「じゃあ、自分が〇〇してあげよう。」と行動に移したりしがちです。しかし、人間関係の悩みなどというものはそう簡単に解決できるものではなく、話している人は、「苦しい中でがんばっている自分」を認めたり、評価したりしてくれることを望んでいることが多いものです。つまり、悩みを話す側は、信頼できる

人に「そばにいて」くれること、そして「話を聞いて」くれることを求めている、必ずしも話し相手に動いてもらって解決してほしいから話しているとは限りません。聞く側も、話す側の意に反して動いたことで、今までの人間関係がかえってこじれてしまうという例は、たくさんあります。

子どもの場合も自分の力では解決できないから、親に何かをしてほしいと思うこともありますが、それを親に解決してもらうことを望んでいるのではなく、ただ「そばにいてほしい。」「自分の話を聞いてほしい。」ということがたくさんあります。そして成長するにつれ、悩みを解決するには結局、「自分がどうするか」にかかっていることに気づいていくものです。親も早く何とかしたいと思うのは当然ですが、子どもの意に反して動くと親が子どもの人間関係をこじらせてしまう場合もあります。子どもの自立への手助けとして、時には「ただそばにいる」「聞いてあげる」相手として、「苦しい中でがんばっている子ども」を温かく支えていくことも必要ではないでしょうか。

◇「桜浜中学校見学会」のお知らせについて◇

3月2日(土)午後1時から午後4時まで、4月に開校する桜浜中学校の見学会が行われます。明野小学校区では通学区が見直され、明野地区と野村町は小俣中学校と桜浜中学校のどちらかを選択できるようになりました。明野地区と野村町の保護者の皆様には伊勢市教育委員会からの「見学会の案内」と「豊浜中学校・北浜中学校統合準備会だより」を配付しましたが、見学会の見学は自由ですので豊浜・北浜地区の方に限らず、明野小学校区の方も自由に見学ができます。今後、小俣中学校と桜浜中学校を選択する材料として、この貴重な機会にぜひ見学をしてみたいかでしょうか?なお、駐車場が限られていますので、参加される場合は出来る限り乗り合わせでご参加ください。

◇「保護者アンケート」にご協力ありがとうございました◇

11月13日(火)～11月20日(火)に実施しました「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました。「保護者アンケート」や、6月25日(月)～6月29日(金)に実施した「第1回学校生活アンケート(児童用)」、11月21日(水)～11月28日(水)に実施した「第2回学校生活アンケート(児童用)」等の集計結果、「今後の手立て」はホームページの学校だより「あけの」のページに掲載しました。また、保護者アンケートと同じ項目で教職員にもアンケートをとり、比較したものを掲載していますので是非ご覧ください。まだまだ不十分なところがありますが、頂きましたご意見や改善点については、職員会議で確認し、改善活動に取り組むとともに、学校としての考えも少しずつ回答してまいりたいと思います。

◎保護者アンケートから①

ー駐車場の確保についてー

指定管理者の変更に伴い本年度は、運動会、文化祭、土曜授業、授業参観、引き渡し訓練等、様々な学校行事でご来校いただく場合は、総合体育館南側駐車場、磯部工業さん裏駐車場をお借りしたり、コンディションが良ければ運動場も開放したりすることもありました。来年度も細かな部分は改善していくものの、基本的には本年度と同様に可能な範囲で駐車場の確保をしていく予定です。

なお、運動場については、雨でも開放してほしいという要望もいただいておりますが、そもそも運動場は駐車場ではないということ、運動場の土の中には暗渠排水管が通っており、運動場のコンディションによっては晴れの日でも車が通ると排水管がつぶれる可能性があること、解放後の運動場の凹凸の整備の事を考えると、これまで通り、運動場の開放は、授業に支障がなく、コンディションが良い時に限り行う予定です。

現在、総合体育館南側駐車場は約67台、磯部倉庫裏駐車場は約60台、運動場が開放できる場合は約220台、最大でも計350程度と考えています。雨天等で運動場が開放出来なかったり、来年度はPTA会員数が500を超える見込みですので全保護者の駐車場は確保できません。今後も可能な限り、徒歩、自転車でご来校いただきますようお願いいたします。

ー衛生・環境面についてー

トイレの臭いについては、普段は換気扇を動かすとともに、定期的に教職員による掃除を行い、消臭剤や消臭ボールもつかっているところですが、校舎の老朽化のため、改善が見られないのが現状です。引き続き換気や掃除を行っていきたいと考えています。なお、特別教室棟については洋式・乾式床を導入しています。